

問1 江戸幕府が外様大名に対して行った政治的な制限や扱いの仕組みについて、背景を含めた説明として正しいものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 軍事力や経済力がある一方で反抗の恐れがあったため、幕政への参画を認めず、領地を辺境に置くことで警戒した。 | 2. 徳川氏との縁戚関係が強いため、老中などの幕府の最高職に優先的に任命された。 | 3. 将軍の補佐役として、主に外交や朝廷との交渉などの専門的な公務を世襲で担当した。 | 4. 1万石未満の小規模な領主であったため、軍役の負担を免除する代わりに江戸への居住を義務付けた。 |
|---|--|--|---|

問2 所得税の仕組みにおいて、課税される所得金額が195万円以下の部分には5%の税率が適用されますが、所得が増えるに従って税率は段階的に引き上げられ、4000万円を超える部分には最高で45%の税率が課されるよう設計されています。このような仕組みを導入している公的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 特定の輸入品に対して高い税率を課することで、安価な外国製品から国内の農家や企業を保護するため | 2. すべての国民に一律の税率を適用することで、税負担の公平性を確保し、納税事務を簡略化するため | 3. 所得の高い層に重い負担を求めることで、経済的な格差を縮小させる所得の再分配を行うため | 4. 消費税のように商品購入時に一律に課税することで、景気に左右されない安定した税収を確保するため |
|---|--|---|---|

問3 1928年から1931年にかけての貿易統計において、アメリカ向けの輸出額が大幅に減少していることが示されている時期の、日本国内の農村部の状況として適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 生糸の原料となる「まゆ」の価格が暴落し、養蚕農家が深刻な経済的苦境に陥った。 | 2. 輸出できない生糸が国内で大量に消費されるようになり、農村に現金収入がもたらされた。 | 3. 政府が農家から「まゆ」を高い価格ですべて買い上げたため、農村の景気は安定した。 | 4. 製糸工場での労働力が不足したため、農村から都市への人口流入が加速した。 |
|---|--|--|--|

問4 函館山の山頂から山麓の各地点を結ぶ地形断面図を作成した際、山肌の傾斜が「山側へ膨らんだ凸型（とつがた）」になっている地点の見通しについて、地理学的な説明として正しいものを選びなさい。 (2020年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 山肌の膨らみが視線を遮る遮蔽物となるため、山頂からその地点を見ることができない。 | 2. 山肌が凹んでいる状態を指すため、視界を遮るものがなく山頂から直接見通すことができる。 | 3. 等高線の間隔が山頂付近で広く、山麓付近で狭いことを意味するため、視界が開けて見える。 | 4. 傾斜が一定の直線であることを示しているため、断面図上では視線と地形が重なり、常に見える状態にある。 |
|---|---|---|--|

問5 「鉢の木」という物語では、生活を切り詰めて暮らす貧しい武士が、僧に扮した北条時頼に対し「落ちぶれてはいても、鎌倉に一大事があれば真っ先に駆けつける」と決意を語る場面があります。このエピソードに象徴される、御家人が将軍への忠誠を示すために果たした軍役や番役などの義務を何といえますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 寄進 | 2. 奉公 | 3. 守護 | 4. 徳政 |
|-------|-------|-------|-------|

問6 18世紀半ばから19世紀末にかけてのロンドンでは、人口が約100万人から650万人近くへと垂直に近い角度で急増しました。これに伴い、テムズ川の水質悪化が深刻な社会問題となりましたが、この時期に汚染が急速に進んだ背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。 | 2. 石炭の大量消費によって発生した硫酸酸化物が雨に溶け、強い酸性雨となって河川の生態系を破壊したため。 | 3. 産業革命による工場建設が進んだことで、工場から排出される化学物質を含んだ排水が主な汚染源となったため。 | 4. 世界的な気温上昇によってテムズ川の水量が減少し、もともと川に含まれていた有害物質の濃度が相対的に高まったため。 |
|--|--|--|--|

問7 現在の十円硬貨にもデザインされている、京都府宇治市に位置する平安時代の建築物の特徴を正しく説明したものはどれか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 急な斜面に突き出すように建てられた「舞台造」が特徴で、重厚な瓦屋根と巨大な柱で支えられている。 | 2. 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。 | 3. 漆塗りの上に金箔を貼り巡らせた三層の楼閣建築で、庭園には全国の守護大名から献上された石が配置されている。 | 4. 二重の屋根を持つ金堂や五重塔が配置され、飛鳥時代の様式を伝える世界最古の木造建築物として知られる。 |
|--|---|---|--|

問8 日本国憲法第9条の条文では、国際平和を誠実に希求する立場から、どのような行為を「国際紛争を解決する手段」として永久に放棄すると定めていますか。 (2026年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------|------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 他国との経済的な競争や、貿易上の不均衡の是正 | 2. 国内の治安維持を目的とした警察権の行使 | 3. 国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使 | 4. 国際連合の決議に基づかない、他国への人道支援活動 |
|---------------------------|------------------------|-------------------------------|-----------------------------|

問9 平安時代末期から鎌倉時代にかけて、日本国内では自ら貨幣を鋳造する代わりに、中国から「宋銭」を大量に輸入して流通させていました。このように輸入銭が広く使われるようになった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|---|
| 1. 朝廷が律令制度を強化し、国家の権威を示すためにあえて外貨を採用したため。 | 2. 日本国内での銅の産出が完全に止まり、貨幣の原料が一切不足したため。 | 3. 幕府が国内産の貨幣の使用を禁じ、外国の貨幣を使うよう法律で強制したため。 | 4. 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。 |
|---|--------------------------------------|---|---|

問10 1905年2月22日、日本政府は隠岐諸島の西北に位置する無人島を正式に「竹島」と命名し、ある行政手続きによって領有の意思を再確認しました。この時、竹島を所管することとなった自治体が行った公的な発表を何といえますか。 (2026年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 北海道庁布告 | 2. 東京都訓令 | 3. 沖縄県告示 | 4. 島根県告示 |
|-----------|----------|----------|----------|

問11 大正時代から昭和時代にかけて活動した市川房枝の活動について、戦前・戦後の流れとして正しいものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 岩倉使節団の一員としてアメリカへ留学し、帰国後は看護学校の設立に携わることで、近代的な医療現場における女性の役割を確立した。 | 2. 戦前は新婦人協会などを通じて女性参政権獲得を目指して活動し、戦後は日本初の女性国会議員の一人として女性の地位向上に尽力した。 | 3. 明治新政府の「富国強兵」政策に基づき、製糸工場で働く女性工員たちの労働環境を改善するため、日本で最初の労働組合を結成した。 | 4. 日露戦争の際、戦地へ送られた弟を思う詩を新聞に発表し、文学を通じて平和の尊さと女性の家族への愛を訴え続けた。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 軍事力や経済力がある一方で反抗の恐れがあったため、幕政への参画を認めず、領地を辺境に置くことで警戒した。	外様大名は関ヶ原の戦い以降に屈服した勢力であり、幕府にとっては潜在的な敵対勢力でもありました。そのため、石高が高く強力な軍事力を持っていたも、幕府の意思決定に関わる役職（老中や若年寄など）に就くことは厳しく制限されていました。また、参勤交代や手伝普請（公共工事の負担）を課すことで、経済力を削ぎ、反乱の余裕を与えない仕組みが作られました。
問2	答え 3 所得の高い層に重い負担を求めることで、経済的な格差を縮小させる所得の再分配を行うため	所得が高くなるほど税率が高くなる仕組みは、高所得者から多くの税を集め、それを社会保障や公共サービスなどの形で国民に還元することにより、貧富の差を小さくする役割を果たしています。これを財政の「所得の再分配」機能といい、現代の福祉国家において非常に重要な制度的枠組みとなっています。一律の税率を適用する「比例税」とは対照的な考え方です。
問3	答え 1 生糸の原料となる「まゆ」の価格が暴落し、養蚕農家が深刻な経済的苦境に陥った。	アメリカへの生糸輸出が激減したことで、その原料となる「まゆ」の価格が暴落しました。当時の日本の農家の多くは、稲作の合間に養蚕（蚕を育ててまゆを生産すること）を行って現金収入を得ていたため、価格の暴落は農村経済に致命的な打撃を与え、欠食児童や娘の身売りといった深刻な社会問題を引き起こしました。
問4	答え 1 山肌の膨らみが視線を遮る遮蔽物となるため、山頂からその地点を見ることはできない。	断面図において地形が凸型（外側に盛り上がった形）になっている場合、その盛り上がった部分が見線を遮る障害物となります。そのため、山頂から山麓の地点を直接見ることはできません。反対に、地形が凹型（内側に窪んだ形）であれば、視線の下側に地形が位置することになり、見通しが良くなります。
問5	答え 2 奉公	鎌倉時代の御家人は、将軍から受けた所領支配の保証などの恩恵に対し、命をかけて軍役を果たすことが求められました。この物語にある「いざ鎌倉」という言葉は、幕府の危機に際して即座に軍役を果たすという武士の覚悟、すなわち「奉公」の精神を象徴しています。この双務的な関係が鎌倉幕府を支える基盤となりました。
問6	答え 1 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。	産業革命期の大都市では、短期間に爆発的な人口増加が起こりました。当時の都市開発において、増え続ける住民が出す生活排水を処理する仕組みが十分に整っていなかったことが、テムズ川の深刻な水質汚濁を招く直接的原因となりました。工場の排水も問題ではありましたが、この時期のロンドンにおける最大の汚染要因は未処理の生活排水でした。
問7	答え 2 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。	平等院鳳凰堂は、阿弥陀如来が住む極楽浄土の宮殿を模して造られました。大きな池の中に島を設け、そこに建物を配置することで、水面に建物が映り込むように設計されています。この左右対称の美しい構造は、当時の貴族が好んだ寝殿造の影響を強く受けており、当時の高度な建築技術と美意識を現代に伝えています。
問8	答え 3 国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使	日本国憲法第9条第1項では、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求することを掲げた上で、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使を、国際紛争を解決する手段としては永久に放棄することを明記しています。これは、いかなる理由があっても国際的な争いごとを解決するために武力に訴えないという、日本国憲法の平和主義の根幹をなす考え方です。
問9	答え 4 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。	平安時代中期以降、日本では貨幣を鑄造する技術や制度が衰退していましたが、平氏による日宋貿易の推進などにより、経済活動が活発化しました。急増する貨幣需要に対し、日本側は金や木材などを輸出し、代わりに信頼性の高い宋銭を大量に輸入することで、年貢の銭納化などが進むきっかけとなりました。
問10	答え 4 島根県告示	日本政府は1905年1月の閣議決定を経て、同年2月22日に島根県知事が「島根県告示」を行いました。これにより、竹島が島根県の所管であることが正式に示され、近代国際法における領有権の要件を明確に満たす形となりました。この出来事にちなんで、現在では2月22日が「竹島の日」として制定されています。
問11	答え 2 戦前は新婦人協会などを通じて女性参政権獲得を目指して活動し、戦後は日本初の女性国会議員の一人として女性の地位向上に尽力した。	市川房枝は、平塚らいてうと共に新婦人協会を設立して以来、一貫して女性の政治参画（参政権）を求めて活動しました。その願いは第二次世界大戦後の1945年に実現し、彼女自身も1953年から参議院議員として長く政治の場で活動し、日本の女性運動をリードし続けました。留学の記述は津田梅子、日露戦争の詩は与謝野晶子の事績です。